

保護者會に臨みて感じたるまゝ

大江 政 衛

「お母さん、明日僕はおやすみです、お母さん幼稚園に入らつしやい」と通知書をさし出す。

「○○のおだだを先生に申上げやうか………」

それともお伶俐な事計りにしやうかしら……」

「お駄々なんか嫌い、そんな事いつたらお母

さんが叱られるよ」

など話合ふうちに其日も暮れて、翌七日午前九時といふに登園いたしました。

設備されたる遊戯室には、はやも幾多の保護者達が着席して居られました。空席に座して正面を見る、鐘輝さんの軸物、「テーブル」の上には五月人形や具足や菖蒲などが飾られてある、このやうな

装飾は家庭以外には幼稚園ならでは味ひ得ぬ情趣であると感じました。

○○さんのお母さんは御出席であらうか、どの様なお方様たらう？○○さんは、どなた様が入らつしやつただらう？など、愛兒の友達から連想するお母様達もおなつかしく、このやうな時に、日頃の御教養振りや、御家庭での御様子など伺ひたいと切に感じましたが、さて御顔に見知りもなく、口切りも得せずさりとて勇氣を起して、二三人の御母様に御言葉をかけると、何れも何れも思ふ組の方々でなく、少々失望いたしました。

せめては、めい／＼が名のり上げぬまでも、保

護者の場席も、あらまし組別にでもしてあれば、如何に交際下手な自分ごときものも、御懇談上便宜であらうになど、考へて居るうちに時はすぎて校長並に主事の御臨場引つゞいての御話、一々身にしみて有がたく拜聴いたしました。

校長閣下よりの御話の要領は、此度文部省令によつて幼稚園の保育方針を明瞭にせられたのは、誠に教育上の一大進歩である。

幼稚園では、従來圓滿なる身體の發育と善良なる習慣を養成するのが主旨であつただけけれど、今度の要旨に示されたものは、圓滿なる身體の發育を計る外に、善良なる性情を涵養するといふことを以て、其方針とせられた。

これはよほど幼児の内面的生活の上に、意味の深い事を教へられて居る。といふ様の御話であつたかの様に思はれました。

次に主事殿の御話は、實際多年の御経験よりし

ての御教示とて、一般的の事から、引て日々の細い實際事項についての御注意を、おきかせ下さいました。其要點は

- 1、目下登園児の出席歩合は至つて良好である
其原因は季節の良好な事も一因でありませうが、一因には幼稚園並に各家庭の注意による
幼児の健康と、日々の作業の興味とが、しらすくくの内に登園をよろこばすものと思はれる。
- 2、出缺席の事は、學齡に達した教育ほどに、
やかましく幼稚園では申ませんが、善良なる習慣を養成するといふ點より申せば、なるべく缺席は勿論、規定の時間におくれぬ様登園させてほしい。
- 3、服装の事は、以前の幼児に比べると、如何に輕快に運動に適して居るかは今更説明を要しない。どうか今後も、現今以上の質實を以て

華美にならぬやう希望する。

4、幼児に厚着させる事は、運動をさまたげ、時に發汗より冷却の際、往々寒胃を誘發せしむるおそれがあるから、なるべく薄着になれしめて、發汗を調節し、また歸宅の途、車中にうたたねなどした時には、通り風のあたらぬ様附添の者が細心の注意をせねばなりません。

1、體格検査の結果は、それ／＼御家庭に通知いたしますが、個人の治療までは、届かないのですから、愛兒の保健上、何等かの故障あつた際は、充分徹底的の治療を希望します。特に傳染性の疾病は、多數兒童への關係も大です。一層の注意を要し、罹病中は勿論、豫後の治療攝養をも充分にして、登園をいそがれざる様希望致します。

6、御辨當を開いて無心に食事する、幼兒の心

境を考へると、理屈ぬきの温情に其幸福を感じます、今後も特に注意して、季節がはりのため、また暑氣に入つては、一しほ味の變らぬやう、特に品質種類を選択して、調理し其分量にも御注意を乞ふ。

以上の事々は主に毎日起る實際上の御注意を伺つたので、これに次いで、やはり主事殿よりも、此度の要旨中に示された、善良なる性情の涵養といふことは、特別幼兒の心情心境に關する内面的面の交渉で、よほど周圍のものが教養上に注意を要する事項であるから、家庭においても愛兒の取扱は特に微細の御注意を乞ふ。

といふ様の御話であつたと記憶致して居ります。此日先生の御話は「勿れ主義」でなく、何事も幼兒の身邊に涉るさまざまの御注意、何れも積極的
に「かくあれ」「かくあらまほし」「今後も一層の努力と御注意とを乞ふ」といふ様の御話振りで、

「かゝる事は困る」「こゝういふ事はよくない云々」とたしなめられるのでないだけに、保護者としての責任感は一層に力強く感ぜしめられました。

子供の性情を陶冶する責任者は、申までもなく其両親・ことにも母親が第一人者でございます。

尤も祖父母兄弟姉教師も大に責任者の一員として考へねばなりません、しかし、親は子のためによりよい事を選びのぞみますが、一體何を子供のために求めるのが正しい道であらうか、よりよいものといふのは何であらう、評判のよい幼稚園に神かけての籤引に前祝をしたり、物たちをしたり、いざ検定となると、其心持は子供には想像もつかない、全く親の試練であります。

小學校、中學校、高等學校、大學と、つき／＼の要求何が標準となつて母は働いて居るのであります。か、誰れしも我子を愛する、愛すればこそさまざまの欲求もあれば、要求もする、それは如

何なる場合にも正しい事計りでありませうか。

これについて私はゼベタイの子の母の心情を想像し、また反省いたしました。ゼベタイといふのは、ガリラヤ湖畔に住む漁師で、其子にヤコブとヨハネといふ二人の子供がありました。この子の母はサロメといつて、其姉にマリヤといふ信仰厚い婦人もあるこのサロメとても日頃信仰のあつた知情意共に兼備の良婦人でございました。この婦人乃ちこの母が常に愛兒の將來を思ひ、いろ／＼と考へぬいた揚句、或日其兒等の恩師に向つて一生懸命に歎願いたしました。

「師よ、折入つての御願を何卒きいて下さい、承ればあなたは、近く御一身に御榮譽を御受けになつて、王位に即かれる様に伺ひました、どうか其節には、師よ、私の愛するこの二人の子を、一人はあなたの右に、一人は左に侍らして御使ひ下さいませ。」とひたすらに御願ひいたしました。

子を思ふ一念、母の聲としては、誠に切なるものではあります。一面から申せば、身勝手な要求でありました。いひかへれば、我兒を愛するあまりに、いままでは控えにひかへて居つた慎みから、勇氣を起して師にねがつた唯一の要求は、かやうにやはり世間並で、王位につぐ地位高官であつたのでございました。

この要求に接せられた師は、速座に「汝等は求める所をしらないものである」とたしなめられ、つゞいて深刻な御教示をあたへられました。これは有名な話でございます。私はこの話をきいて、自分もこの種の母ではあるまいかと反省せずには居られません。否この母よりも、より以下にあるでありませう、信仰の萌芽もなくて、望む事計りはこの母の如くにありはしないだらうか、さすれば何のとりえもない母ではありませんか、

サロメは子に引さるゝ愛に、一寸間違つた慾求

を起しましたが、信仰あつたこの婦人のさかしさは、すぐに身分の非をさとり、罪を悔いて、落つた生涯に入りました。まことにうらやましい心がけであると存じます。

これによつても考へらるゝは、幼稚園保育の要旨とする身體の發達並に善良なる性情の涵養といふことであります。これは全く自覺ある婦人の信念によつて、正しくつちかはれたものでなければならぬと思ひます。先づ其正しきを神の國にもとめて然る後に實施すべきであります。其方針をあやまり、其根本を忘れては、眞に善良なるものは惠まれぬと觀念せねばなりません。

まことにかどくしい思ひも後日の思出るところにしたゝめて此上の御導きを希望するしだいでございます。